

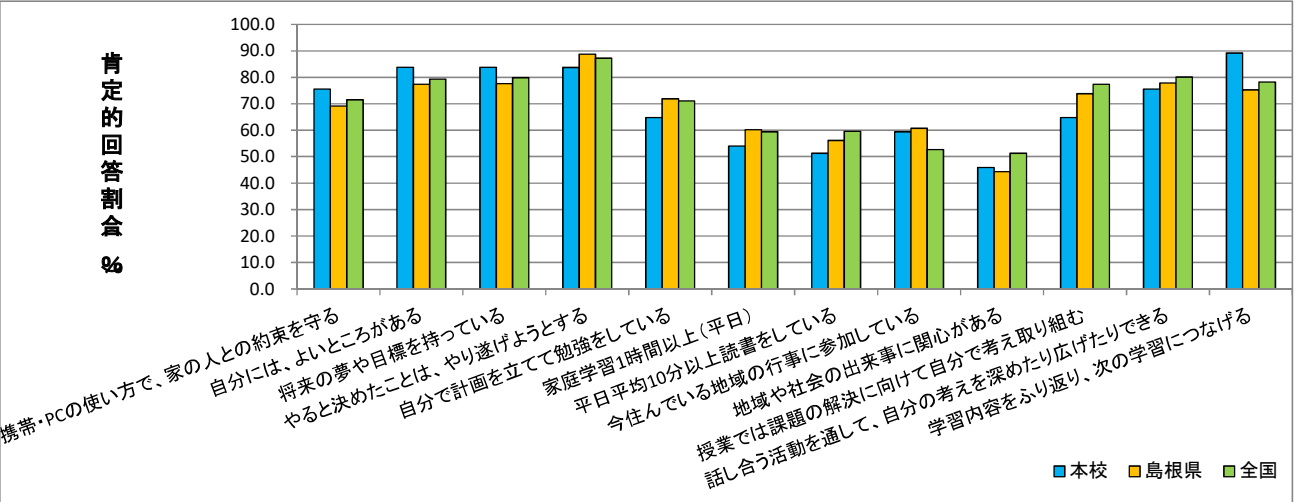
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○「読むこと」に関しては、物語の良さを読み取り、条件に合わせて書くことができている。物語文の内容の読み取りができている。 ●最終問題までたどり着けない児童が多い。	・問題文の量を読みこなす練習をする。読むことに慣れる。 ・意見文の書き方(自分の立場を明らかにして書く)の練習をする。 ・文章の良さを書いて伝える活動を取り入れる。 ・学年相応の読書の質を高める。
算数	○データの活用では表の読み取りができている。 ●図形領域の苦手な児童が多い。 ●算数用語の意味理解が不十分。 ●式や言葉での表現がうまくできていない児童が多い。	・図形の操作活動を充実させる。 ・自分の考えを図や言葉で表現する時間を確保し、ペアで伝え合う等の活動を増やす。 ・数学的活動を充実させ、記憶に残る授業を行う。 ・習熟の時間を確保し、確かな学力の定着を目指す。
理科	○一問一答式、一つの資料から読み取る問題はできている。 ●2種類の資料を用いて答えを導き出す問題を苦手としている。 ●結果から求められた具体的な数値(情報)を利用しながら解答していくことが不十分である。	・読解力を身に付ける必要がある。 ・実験が単発で終わらないように、複数の実験と比較しながら、考察していく学習過程を設ける。 ・実験結果をまとめる際に、実験で得られた数値を活用しながら行うように心がける。

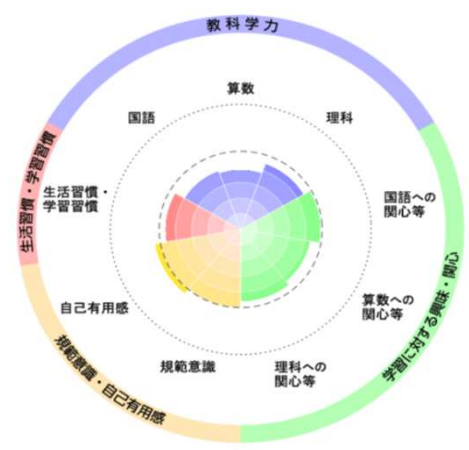
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自分にはよいところがあると思っている児童、将来の夢や希望をもっている児童が多い。 ○朝食、PCの使用、約束を守る等、基盤となる家庭の教育力が活かされている。 ●自分で計画を立てて、1時間以上家庭学習をしている児童が少ない。	・自学によって自分の課題に取り組めるように、家庭との連携に努めながら、個に応じた課題を設定できるように支える。 ・よい自学ノートを示すなどして、自学のレパートリーを増やす。 ・メディアコントロールの取組に合わせ、自学の意識付けを家庭に呼びかける。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・文章の読取がしっかりとできるよう、国語と(他教科との)連携を図る。
- ・話し合いの場「おはなしキャッチボール」等の取組を朝学習等に位置付ける。
- ・自分の考えや思いを書く習慣を付けさせる。
- ・自分でめあてをもって学習に取り組めるよう、計画書などを持たせることによって、自らが学習習慣をつくっていけるように支援していく。

【受検者数】
37 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。